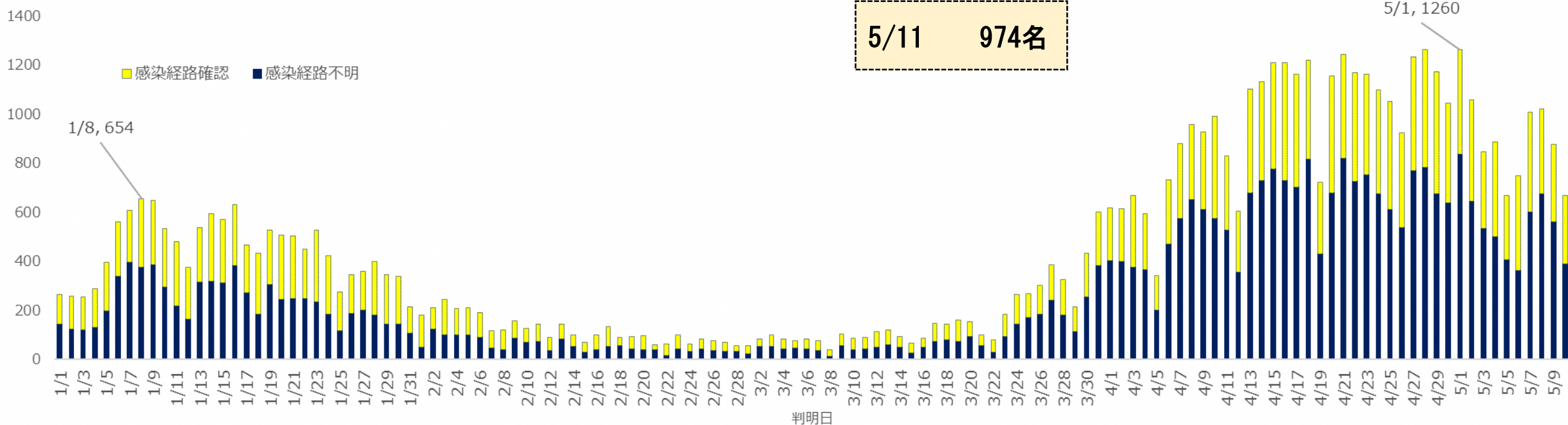


陽性者数の推移



1月14日～2月28日
緊急事態措置
レットステージ（非常事態）2移行
府民への不要不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
1月9日
緊急事態宣言発出要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓送迎会・謝恩会・宴会伴う花見の自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不要不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日）等
2月23日
緊急事態宣言解除要請

3月31日 まん延防止等重点措置要請
4月1日～
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪市）
時短要請20時
4月7日 赤信号点灯（医療非常事態宣言）

4月8日 府域における不要不急の外出移動
自粛要請
4月9日 週末の外出移動自粛要請
4月14日 大学等でのオンライン授業実施や
学校での部活動休止、テレワーク
徹底等を要請

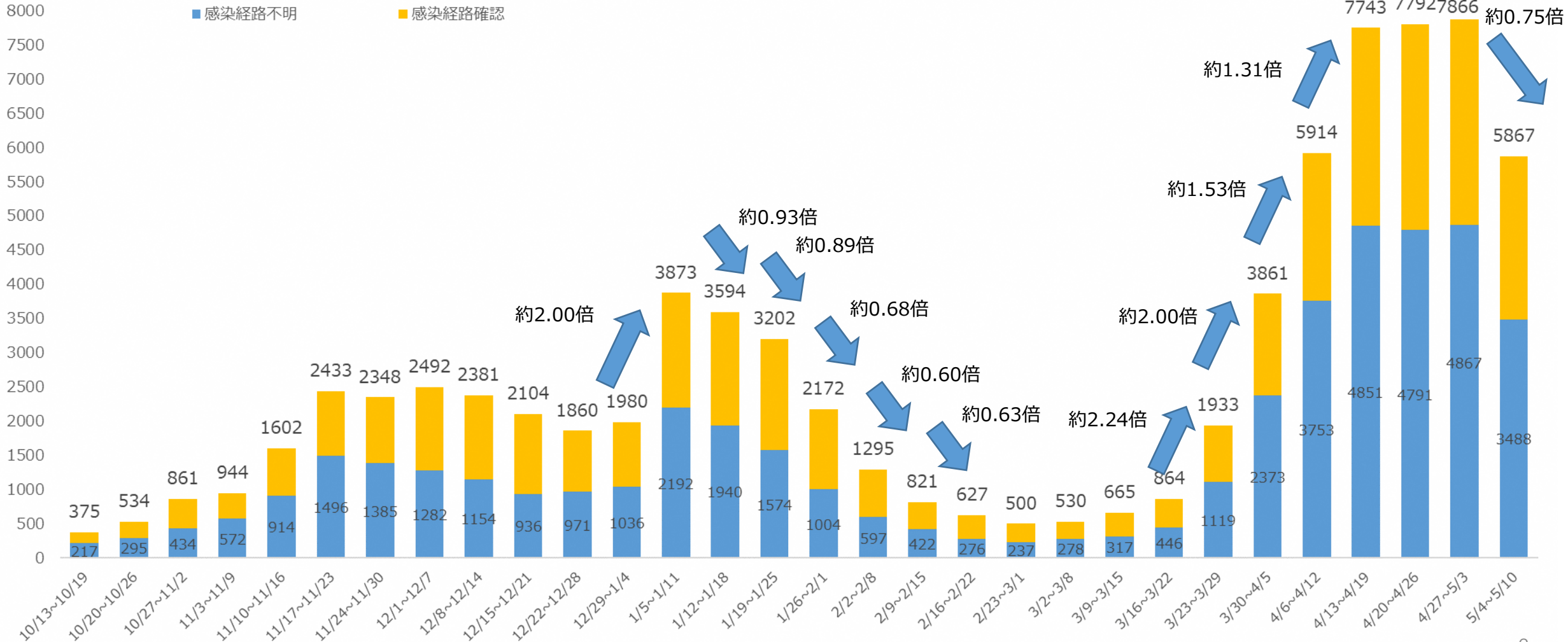
4月20日 緊急事態宣言発出要請
4月23日 緊急事態宣言発出決定
4月25日 緊急事態措置適用（5/11）
不要不急の外出自粛要請、飲食店・一部
施設への休業要請等

5月6日 緊急事態宣言延長要請
5月7日 緊急事態宣言延長決定（5/12～5/31）

7日間毎の新規陽性者数

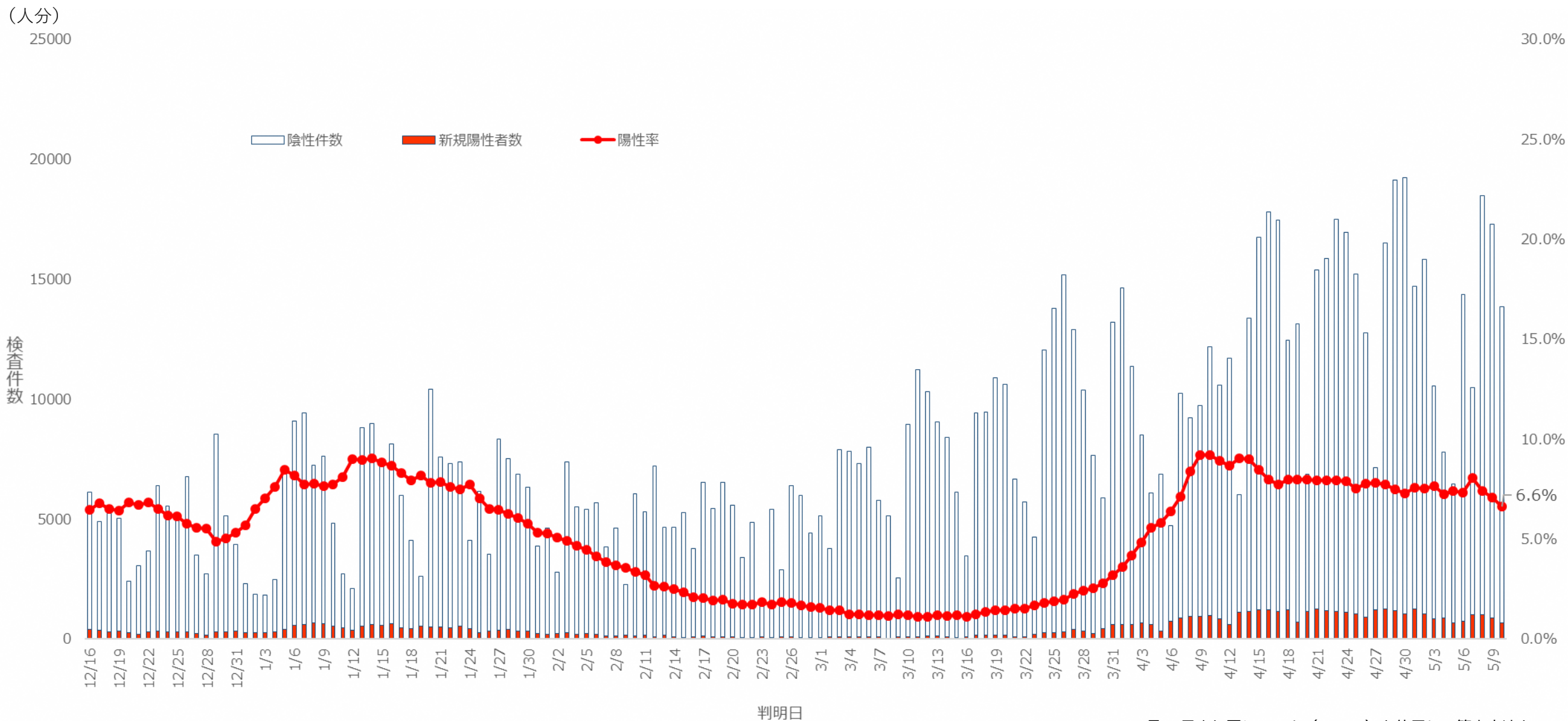
直近1週間は前週に比べ減少（一日平均約838名）。緊急事態措置による減少速度は今後注視が必要。

5/5~5/11 5955名（前週7519名 前週比0.79倍）



検査件数と陽性率

直近は、陽性率が減少傾向。



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」に変更

新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

感染状況の指標にはやや改善傾向が見られるが、医療のひっ迫具合を示す指標は依然厳しい状況。

指標		ステージIV 目安	3/1	4/1	4/23	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/5時点の 目安に対する状況	
ステージIV	医療提供体制等の負荷 医療のひっ迫具合	①確保病床占有率	50%以上	30.4% (601/1,978)	42.6% (847/1,990)	83.5% (1,751/2,097)	83.5% (2,051/2,455)	85.5% (2,108/2,466)	83.1% (2,088/2,512)	81.9% (2,113/2,580)	82.2% (2,122/2,583)	81.7% (2,110/2,583)	82.8% (2,145/2,591)	●
		②入院率	25%以下	56.1% (601/1,072)	23.3% (847/3,630)	11.0% (1,751/15,874)	10.0% (2,051/20,528)	10.0% (2,108/20,210)	10.1% (2,088/20,583)	10.1% (2,113/20,876)	10.0% (2,122/21,147)	9.8% (2,110/21,492)	10.0% (2,145/21,498)	●
		③重症病床確保病床占有率	50%以上	35.0% (143/408)	29.3% (135/460)	66.0% (346/524)	80.4% (483/601)	82.9% (498/601)	82.1% (496/604)	79.8% (483/605)	72.7% (479/659)	72.2% (476/659)	72.5% (477/658)	●
		④人口10万人あたり療養者数	30人以上	12.16	41.18	180.08	229.87	229.27	233.50	236.82	239.90	243.81	243.88	●
	感染の状況	⑤陽性率 1週間平均	10%以上	1.6%	3.6%	7.9%	7.3%	7.4%	7.3%	8.1%	7.4%	7.1%	6.6%	○
		⑥直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	5.67	32.56	88.73	85.37	78.65	73.78	73.36	70.65	68.58	66.56	●
		⑦感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	47.4%	61.0%	62.9%	63.0%	62.7%	60.1%	60.0%	59.7%	60.1%	59.5%	●

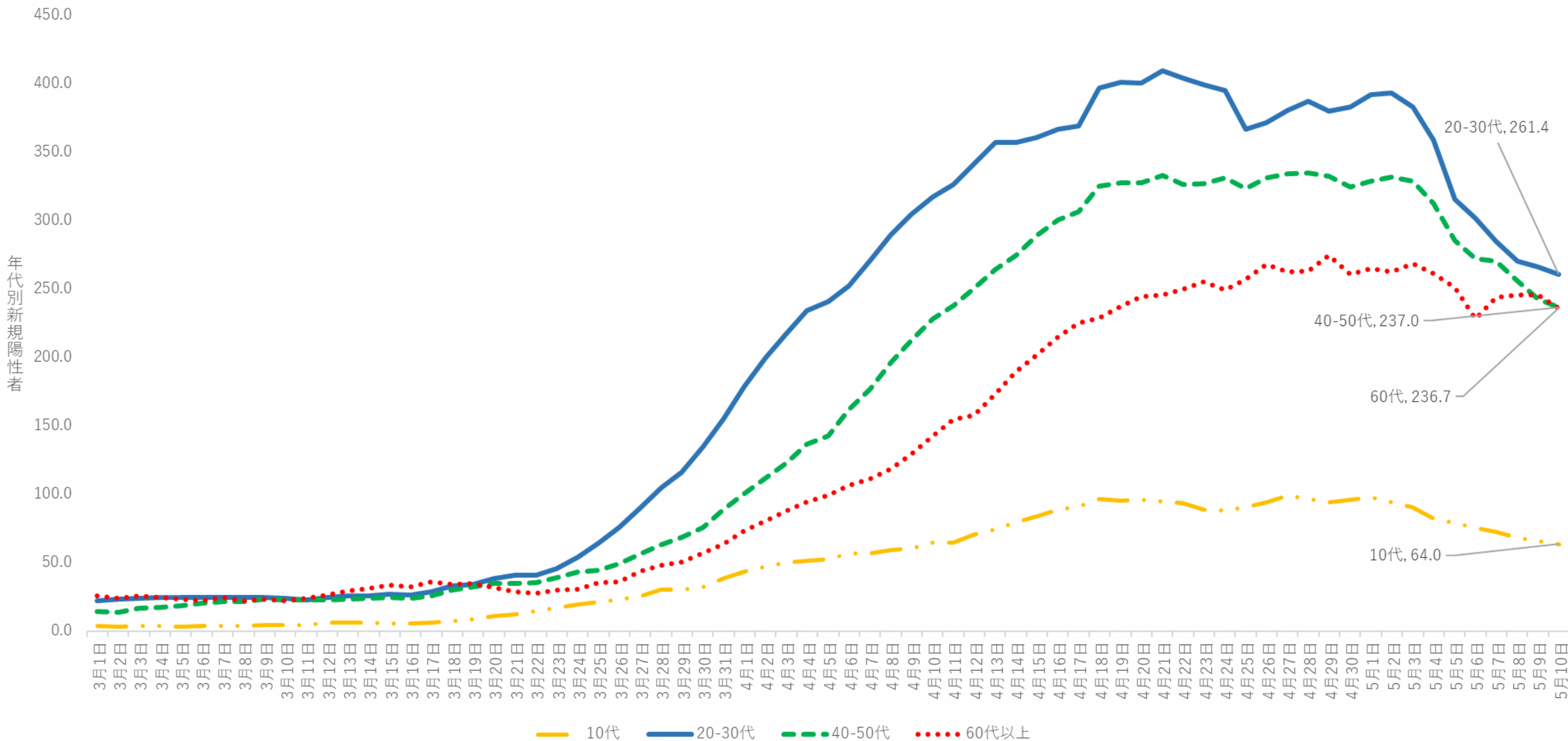
入院率は、人口10万人あたり療養者数が10人以上の場合に適用する。ただし、新規陽性者が発生届が届け出られた翌日までに療養場所の種別が決定され、かつ入院が必要な者が同日までに入院している場合には適用しない。
重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者を除き、他府県で受け入れている重症者数は含む。

●：基準外 ○：基準内

4/20 緊急事態宣言発令要請を決定（第46回対策本部会議）
4/23 緊急事態宣言発令決定、府としての措置を決定（第47回対策本部会議）

年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

60代以上を除く各年代は減少。60代以上の新規陽性者数は5月10日に減少しており、推移を注視。



【第四波】推定感染日別陽性者数

推定感染日別陽性者は4月中旬まで高止まりが続いた後、減少に転じている。

(ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。)

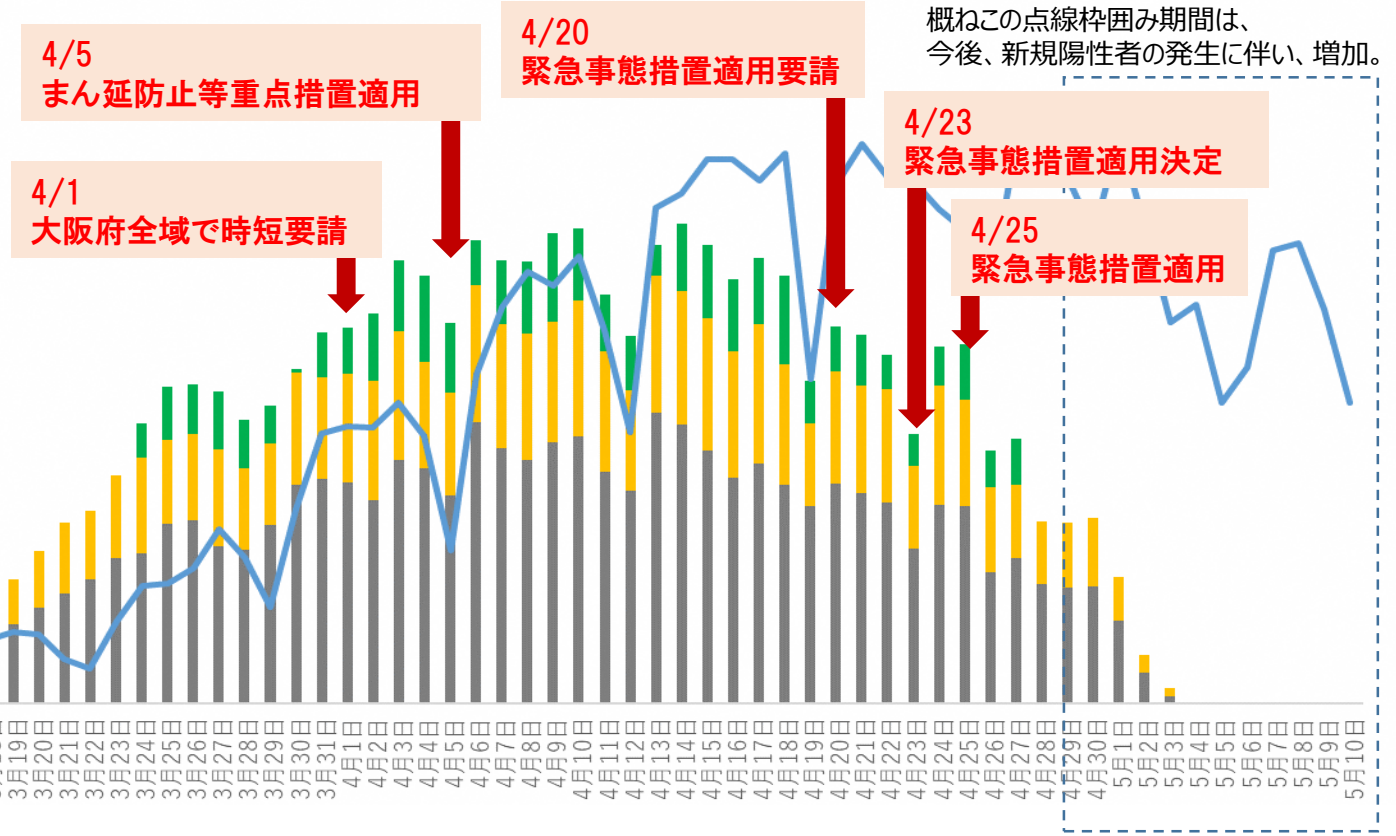
陽性者数

(3月1日以降5月10日までの判明日分) (N=36,380名(調査中、無症状6,711名を除く))

- 感染経路不明(推定感染日別)
- 感染経路確認(推定感染日別)
- 発症日不明事例
- 新規陽性者数(判明日別)

※推定感染日：発症日から6日前と仮定
潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定
(「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

※新規陽性者増加に伴い、有症状で発症日が確認できなかった事例について、陽性判明日から13日遡って算出
(陽性者数に占める発症日不明の割合が10%を越えた4/6分より追加)

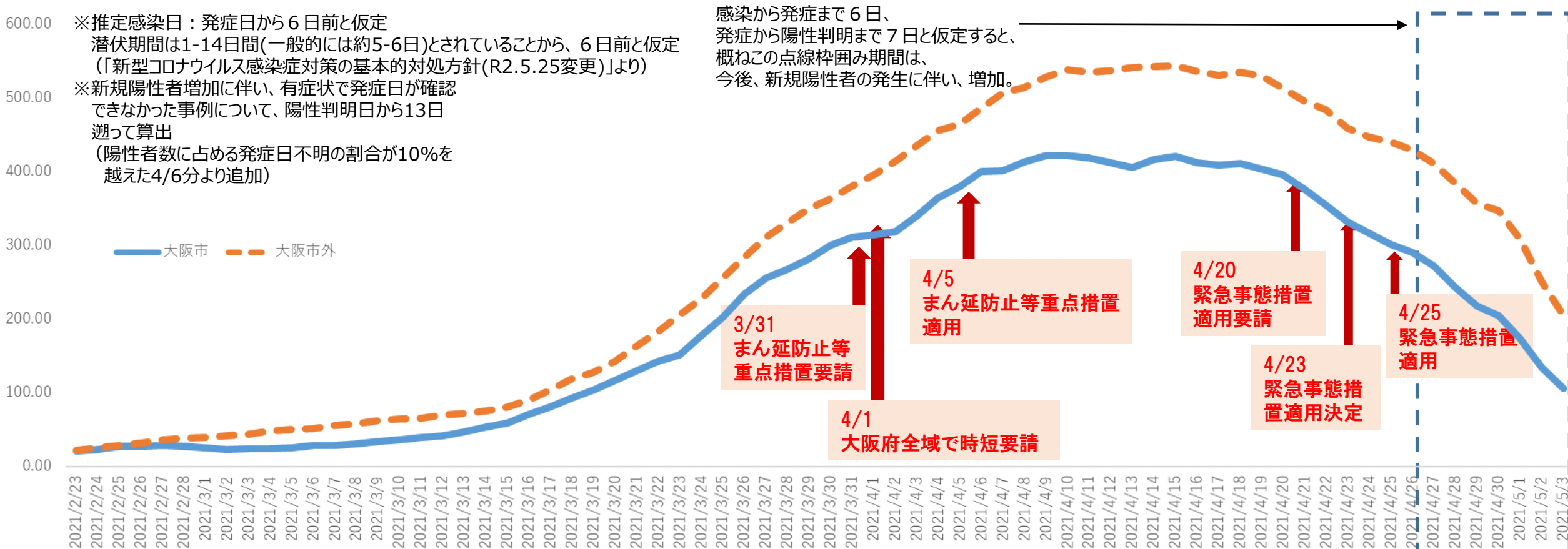


	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	
有症状の陽性者数に占める発症日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	3.1%	5.2%	4.7%	8.8%	5.6%	10.5%	13.4%	11.7%	13.9%	11.1%	10.4%	1.7%	9.2%	9.0%	12.3%	13.0%	
	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
有症状の陽性者数に占める発症日不明の割合	16.6%	12.7%	13.9%	12.4%	13.0%	16.9%	13.8%	11.4%	11.4%	7.3%	12.0%	12.9%	13.7%	14.0%	15.6%	8.9%	11.8%	12.8%	11.4%	9.5%	8.6%	11.9%	9.5%	15.4%

推定感染日別新規陽性者数（大阪市・市外 7日間移動平均）

※市内外は居住地による
 ※発症日が調査中、無症状等を除く

まん延防止等重点措置適用後は横ばいで推移し、緊急事態措置適用要請前後から減少傾向が見られる。
 （ただし、4月6日以降、発症日不明の割合が10%を超過したことから、発症日不明の新規陽性者については、仮定に基づく推定のもと、計上。）

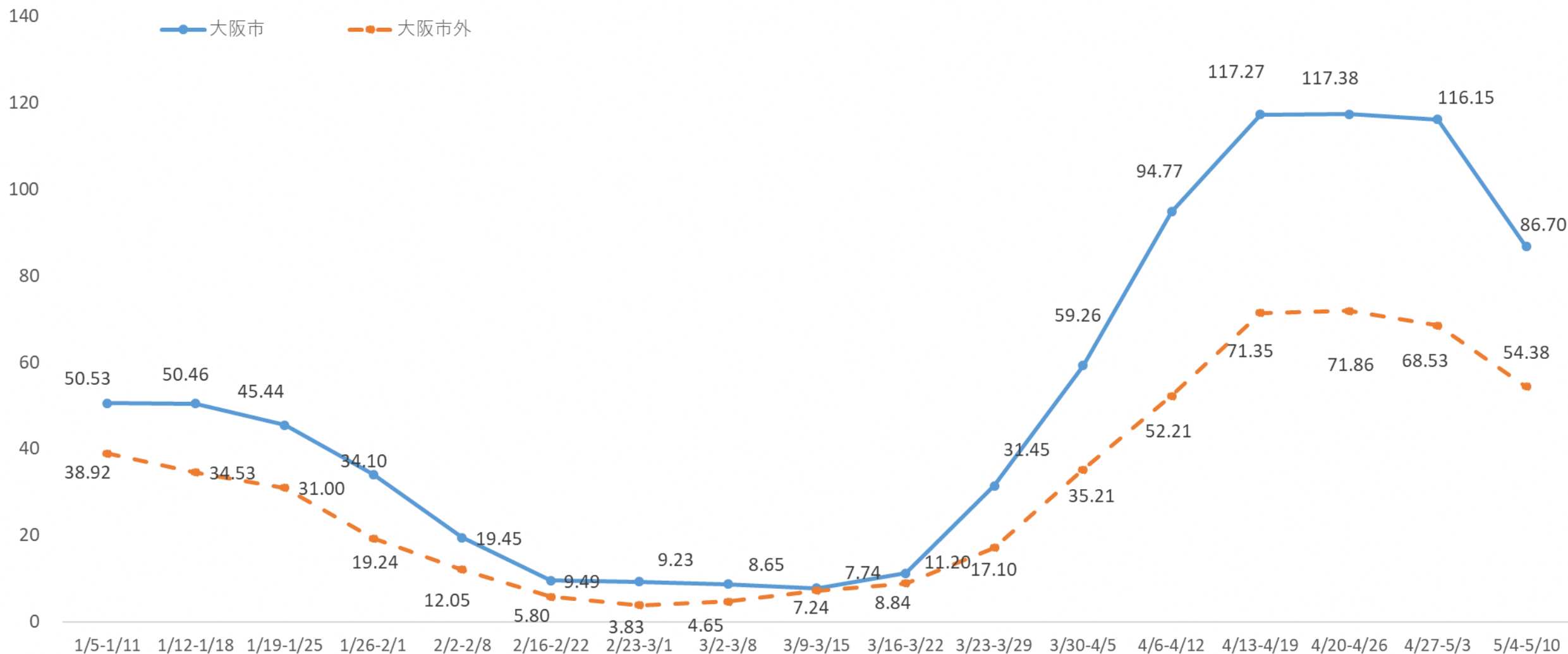


	3/25	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	
有症状の陽性者数に占める発症日不明の割合	1.1%	1.7%	2.3%	1.9%	4.7%	0.9%	2.5%	3.1%	5.2%	4.7%	8.8%	5.6%	10.5%	13.4%	11.7%	13.9%	11.1%	10.4%	1.7%	9.2%	9.0%	12.3%	13.0%	
	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10
有症状の陽性者数に占める発症日不明の割合	16.6%	12.7%	13.9%	12.4%	13.0%	16.9%	13.8%	11.4%	11.4%	7.3%	12.0%	12.9%	13.7%	14.0%	15.6%	8.9%	11.8%	12.8%	11.4%	9.5%	8.6%	11.9%	9.5%	15.4%

大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

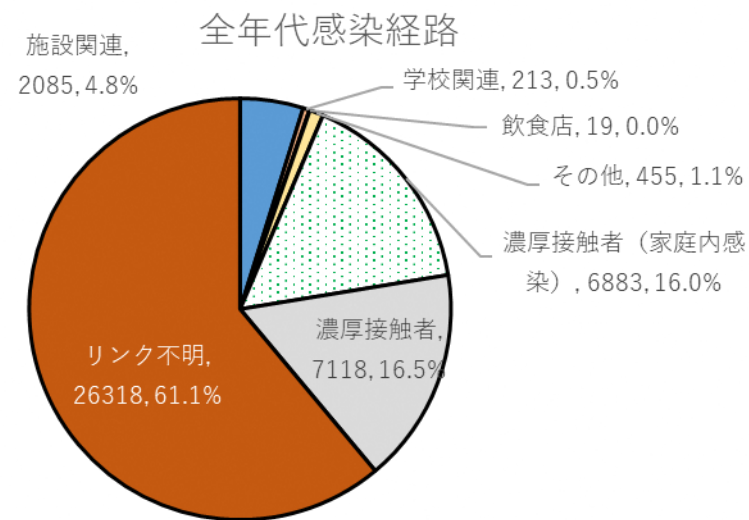
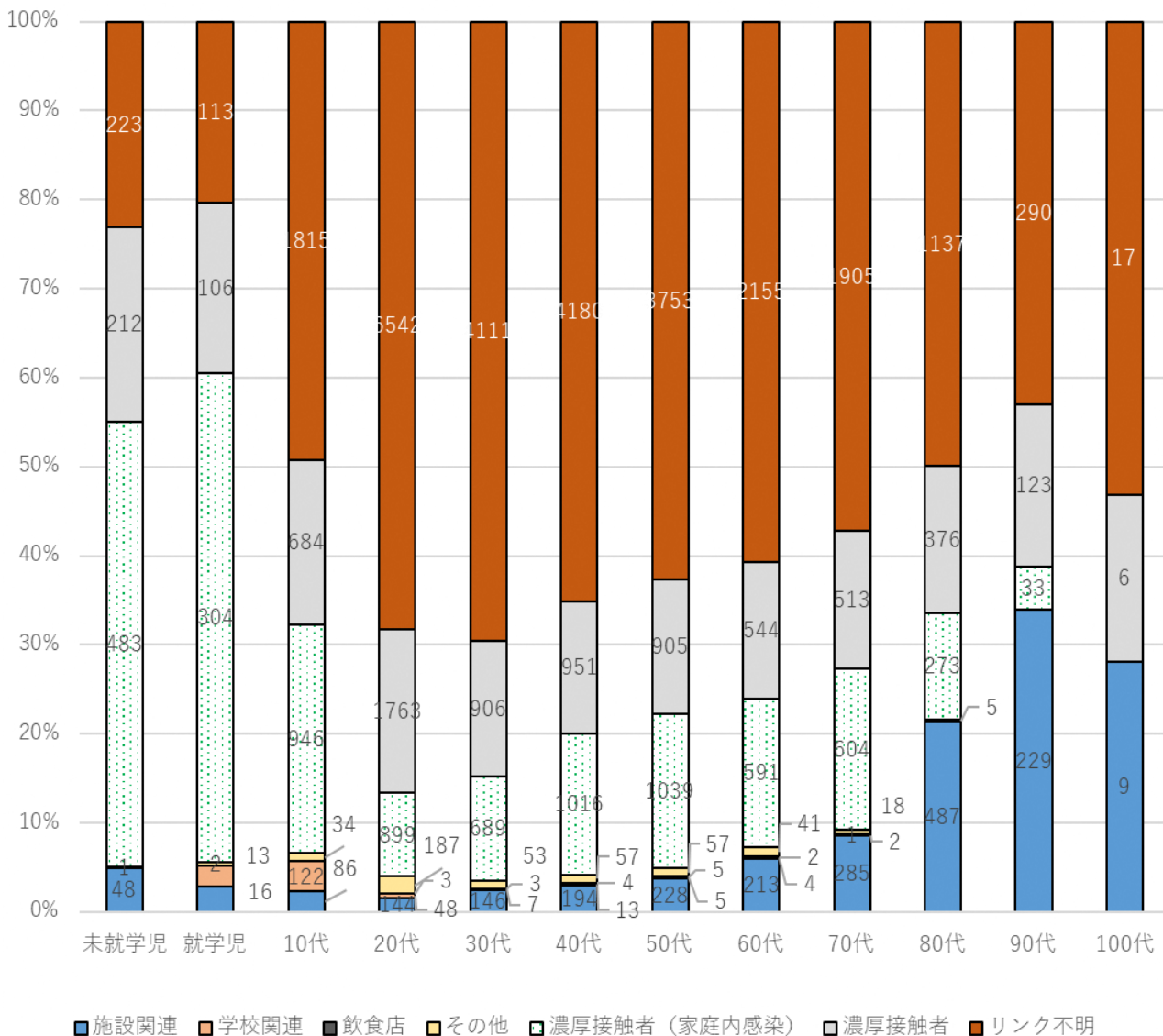
直近1週間で市内居住者ともに減少に転じているが、依然、ステージⅣ（25人）の基準を大幅に超過。



感染経路（第四波）

（3月1日以降5月10日までに判明した43,093事例の状況）

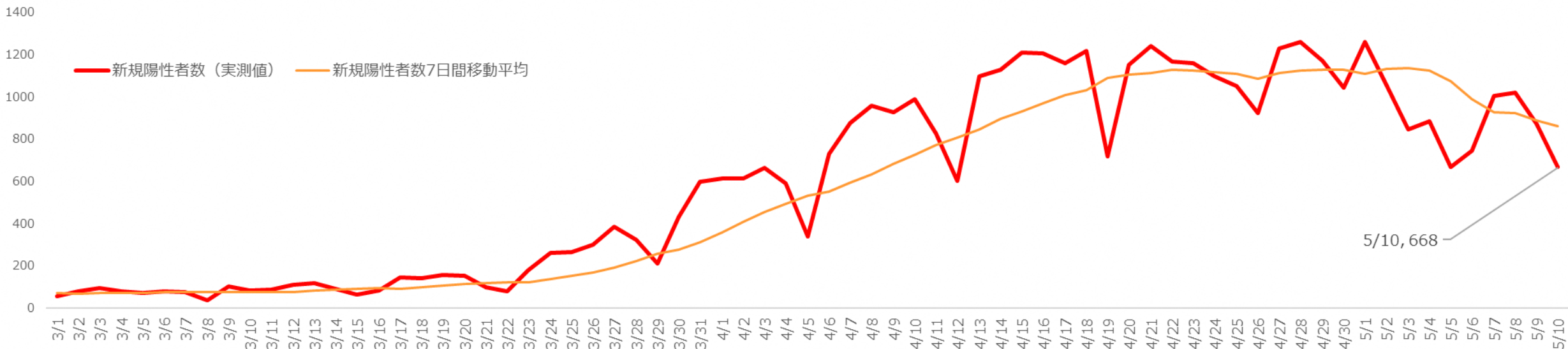
年代別感染経路



< 全年代感染経路 >

時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者 (家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
(参考) 第四波 (3/1~ 3/31)	9.2%	0.8%	0.4%	1.9%	18.3%	12.8%	56.5%
第四波 (3/1~5/10)	4.8%	0.5%	0.0%	1.1%	16.0%	16.5%	61.1%

新規陽性者数と入院・療養者数（5月10日時点）

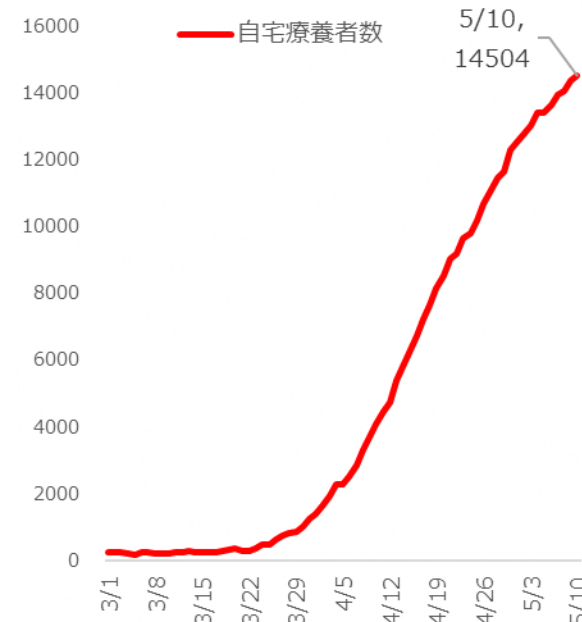
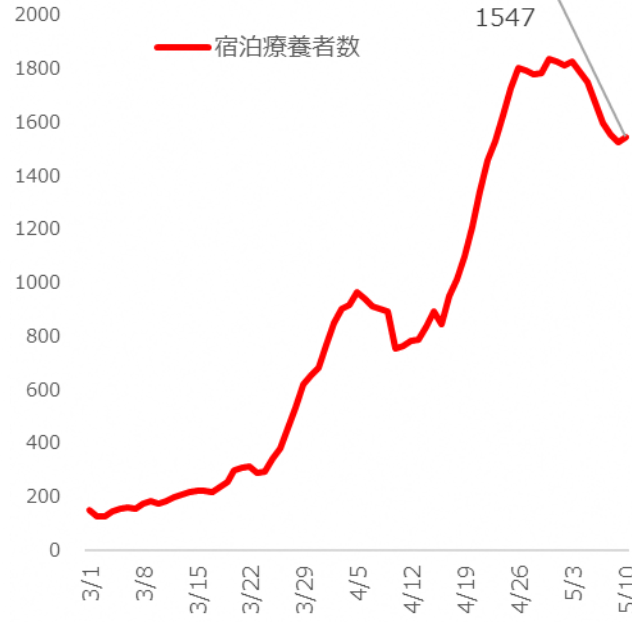
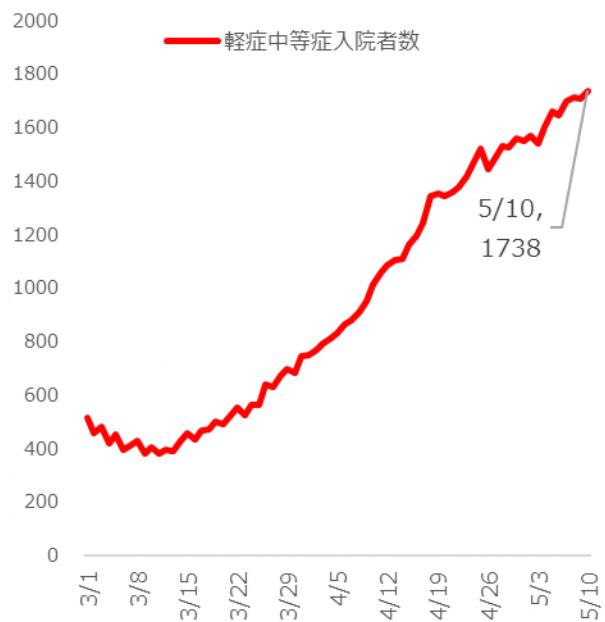
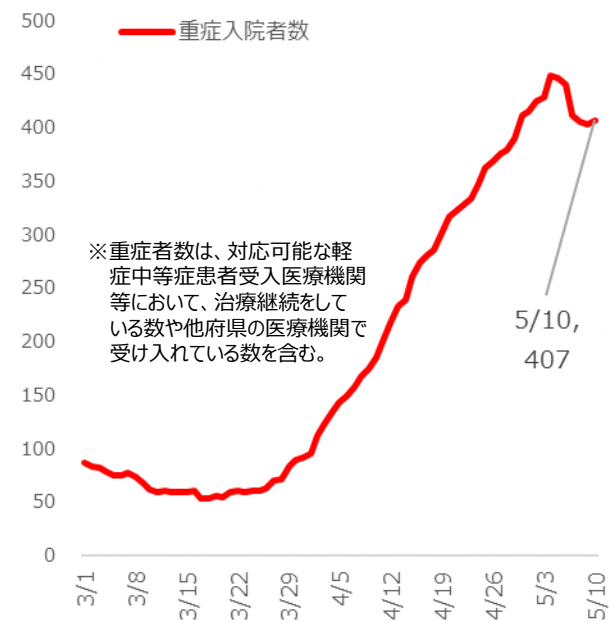


入院患者（重症）

入院患者（軽症中等症）

宿泊療養者

自宅療養者



入院・療養状況（5月10日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等		確保数364床※ ※病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。	確保数2,227床	3,680室
入院・療養者数 （別途、自宅療養 14,504人）		351人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている55人及び他府県の医療機関で受け入れている1人 （計 重症者数 407人）	1,793人※ ※左記55人を含む	1,547人
使用率		96.4% （入院者数351/確保数等364） 大阪モデルに基づく使用率は、156.7% （入院者数351/確保病床数224）	80.5% （1,793/2,227）	42.0% （1,547/3,680）
運用率		96.4%※ （入院者数351/運用数364） うち、大阪コロナ重症センター（22/30） （参考）111.8% 運用病床に占める重症者数割合 （重症者数407/運用数364）	80.5% （1,793/2,227）	42.0% （1,547/3,680）

※ 運用率における入院者数には、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を除き、かつ、医療機関が重症病床として運用計画を大阪府に提出していない病床に入院している重症者数を含む。

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

5月10日現在 **病床運用率96.4%**

運用病床数 **364床**※1 入院患者数 **351人**※2

※1 病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。

※2 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数55人
他府県の医療機関にて受け入れしている重症者数1人(計 重症者数446人)
また、医療機関が重症病床として運用計画を大阪府に提出していない病床に入院している重症者数を含む。

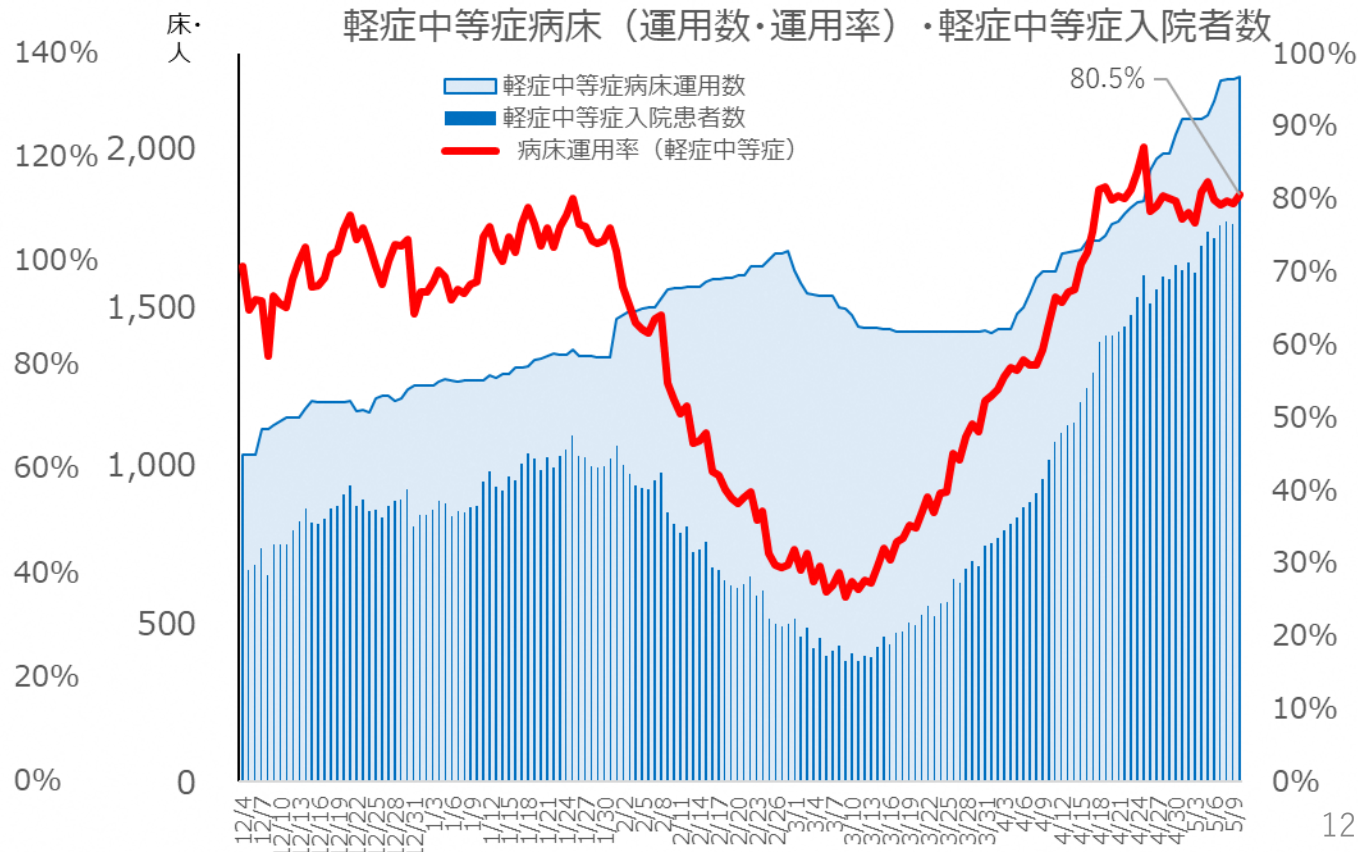
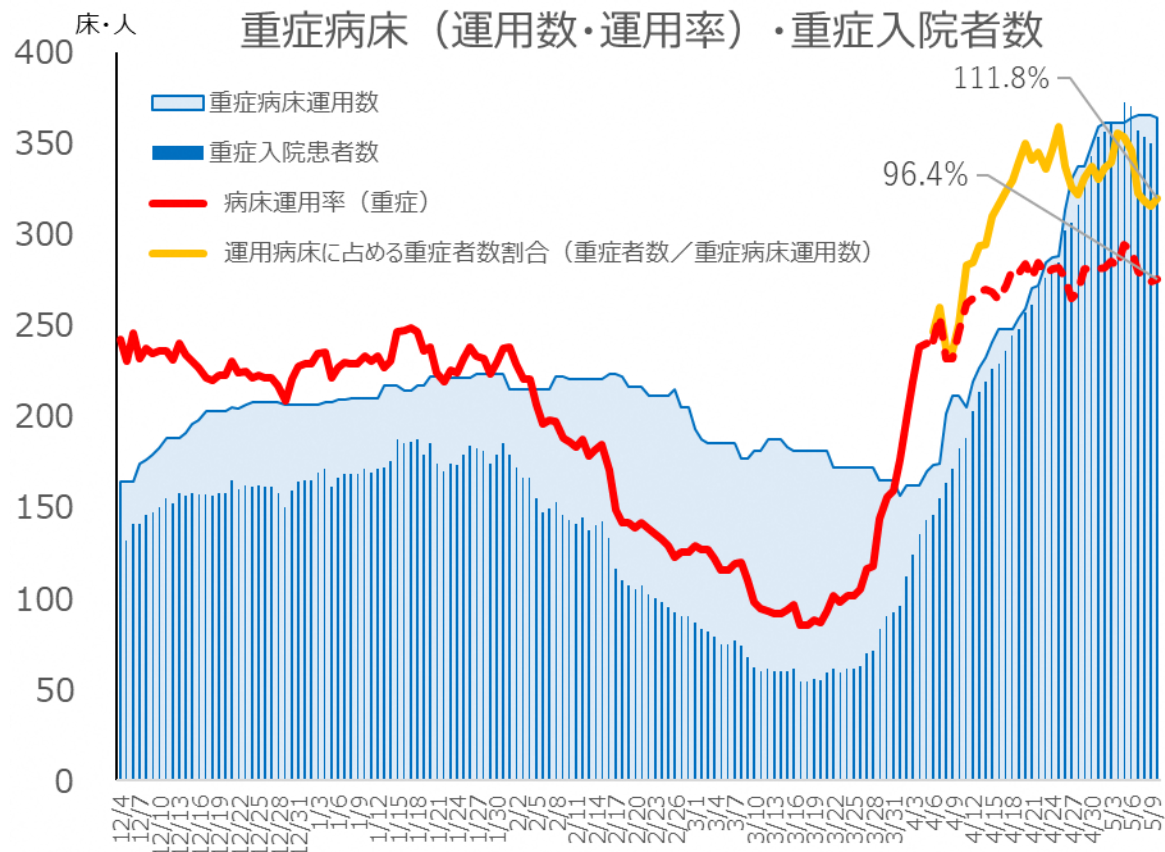
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

5月10日現在 **病床運用率80.5%**

運用病床数 **2,227床** 入院患者数 **1,793人**※

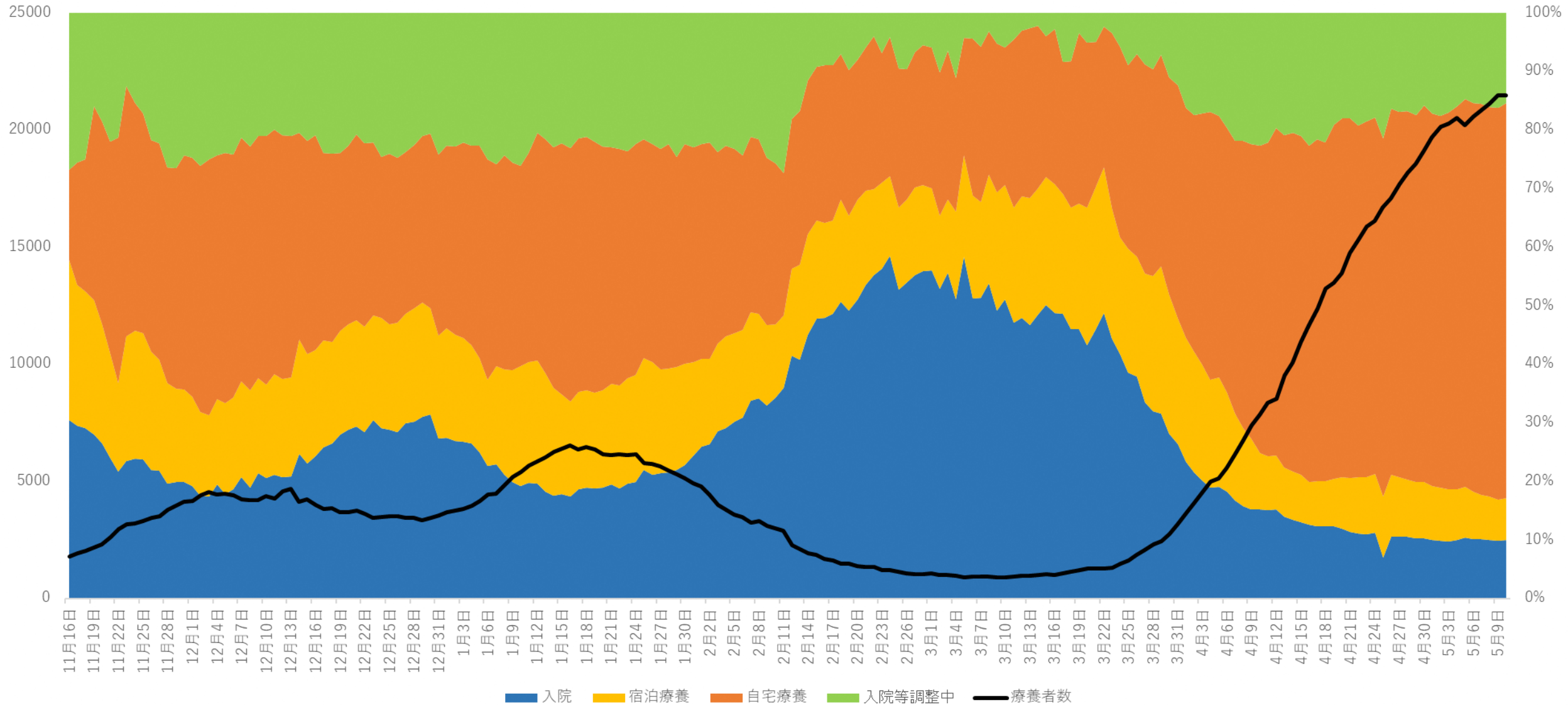
(※左記55人を含む)

- **小児・精神患者用病床等約80床を除いた運用率 約83.5%**
- **重症者を治療継続をすることで、軽症中等症患者受入可能な病床数は実際より少なく、極めてひっ迫**



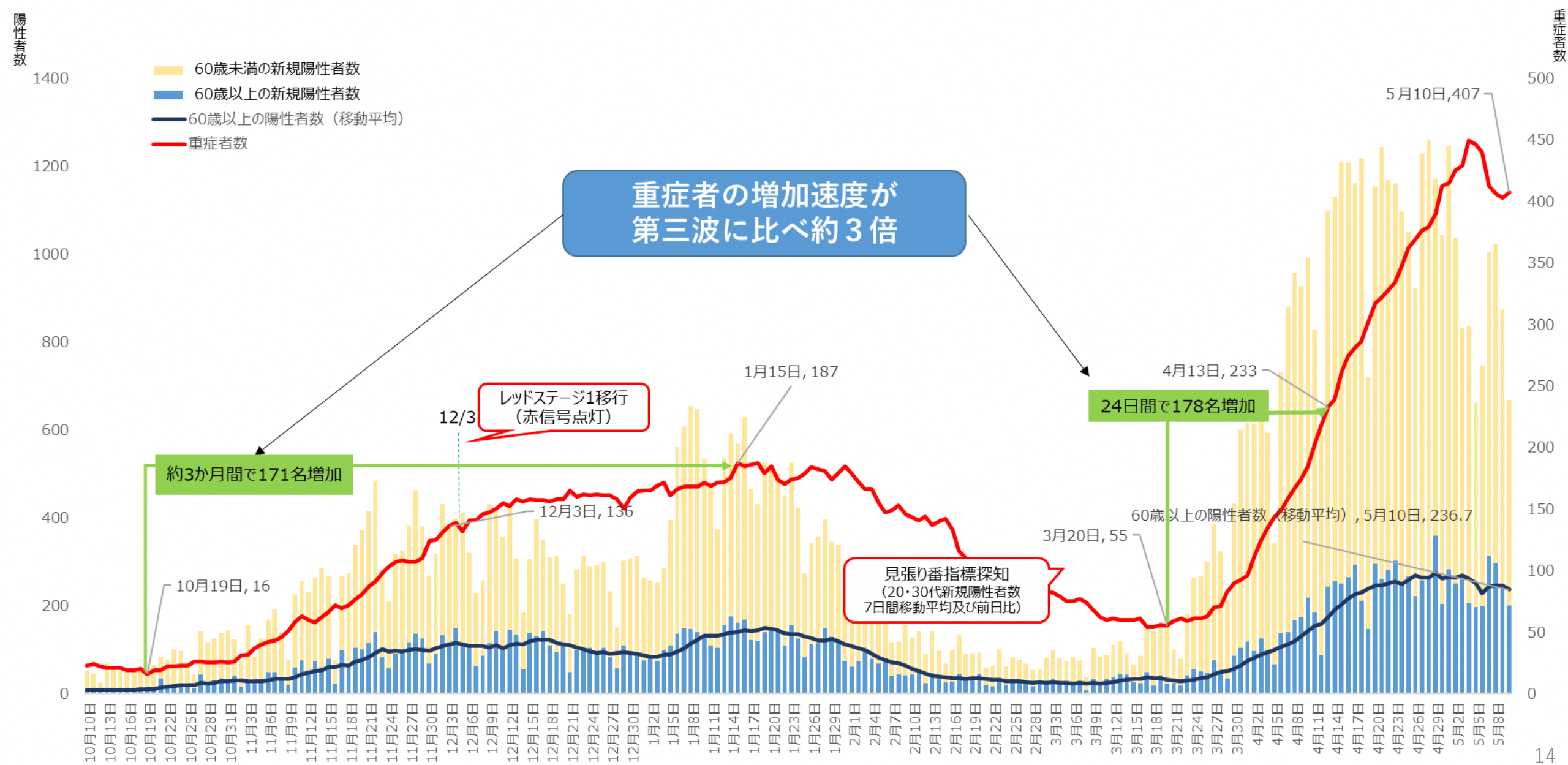
入院・療養状況（5月10日時点）

入院率は、現時点で4月下旬以降、10%前後。



重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

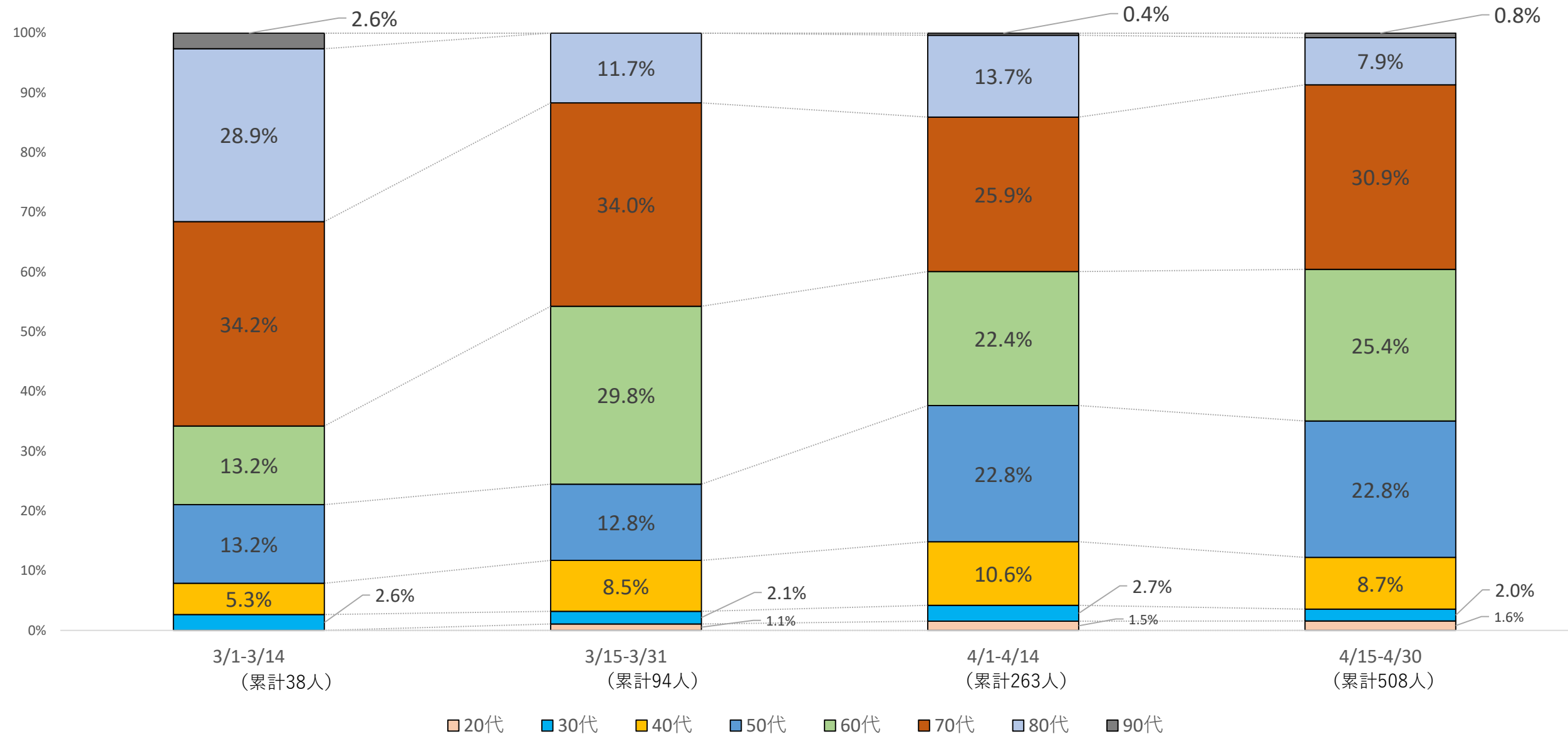
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。



年代別新規重症者の内訳（公表日別）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

第四波では、3月上旬に比べ、3月下旬以降、新規重症者数に占める20代～60代までの割合が増加。



※10代・100代の新規重症者は0名

新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 第45回対策本部会議資料（資料1-4）のシミュレーション（想定①、想定②）に実測値をあてはめるとともに、想定③を追加。

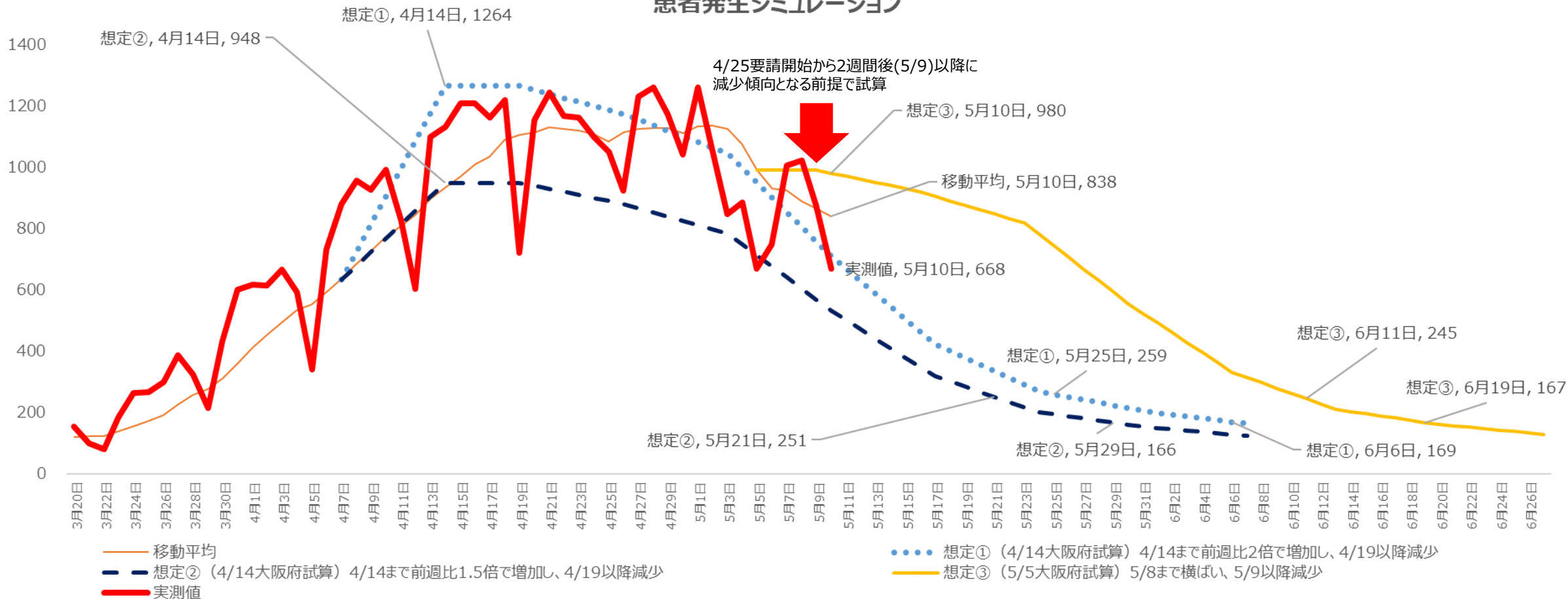
想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

※4/14から4/19までは新規陽性者数は横ばいになると仮定。

想定③：5/6から5/8までは990名/日（5/5時点の新規陽性者数の7日間平均値）の横ばいとなり、5/9（4/25緊急事態措置開始後2週間）以降、第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。

患者発生シミュレーション



直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が25（ステージⅣ）を下回る日：想定①5月25日、想定②5月21日、想定③6月11日

直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が15（ステージⅢ）を下回る日：想定①6月6日、想定②5月29日、想定③6月19日

療養者数のシミュレーション

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者や他府県で受け入れている重症者を含む。

■以下の想定でシミュレーションを実施。

想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定③：5/6から5/8までは990名/日の横ばいとなり、5/9以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合。

【陽性者数の設定の考え方】

■新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18%（※1）と設定。

■新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を28%（※1）と設定。

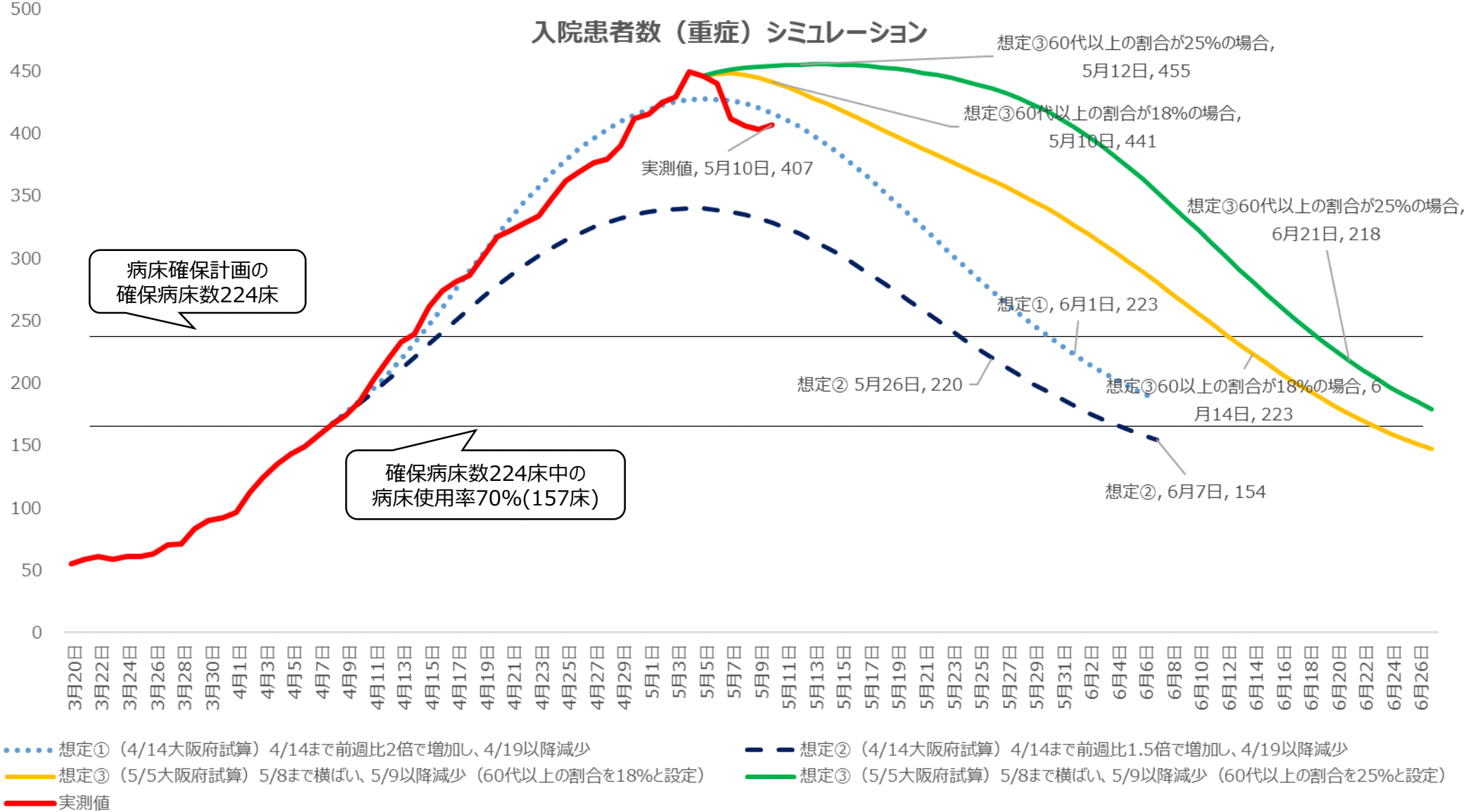
※1：4月7日時点の新規陽性者中の割合（7日間）

【重症率の設定の考え方】

■60代以上の新規陽性者の重症率は9.0%（※2）と設定。

■40代・50代の新規陽性者の重症率は2.1%（※2）と設定。

※2：第四波(3/1~4/5)における重症率



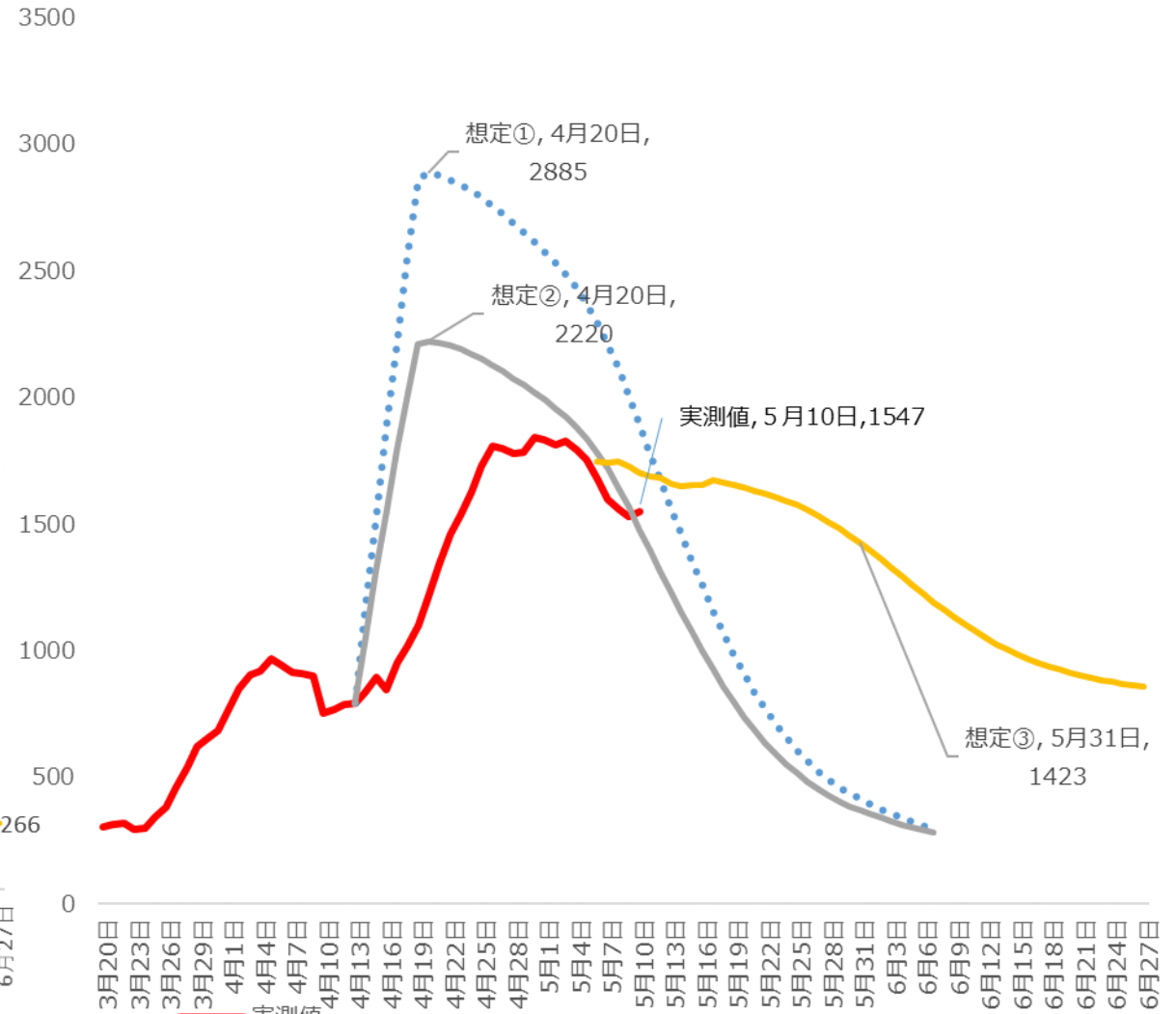
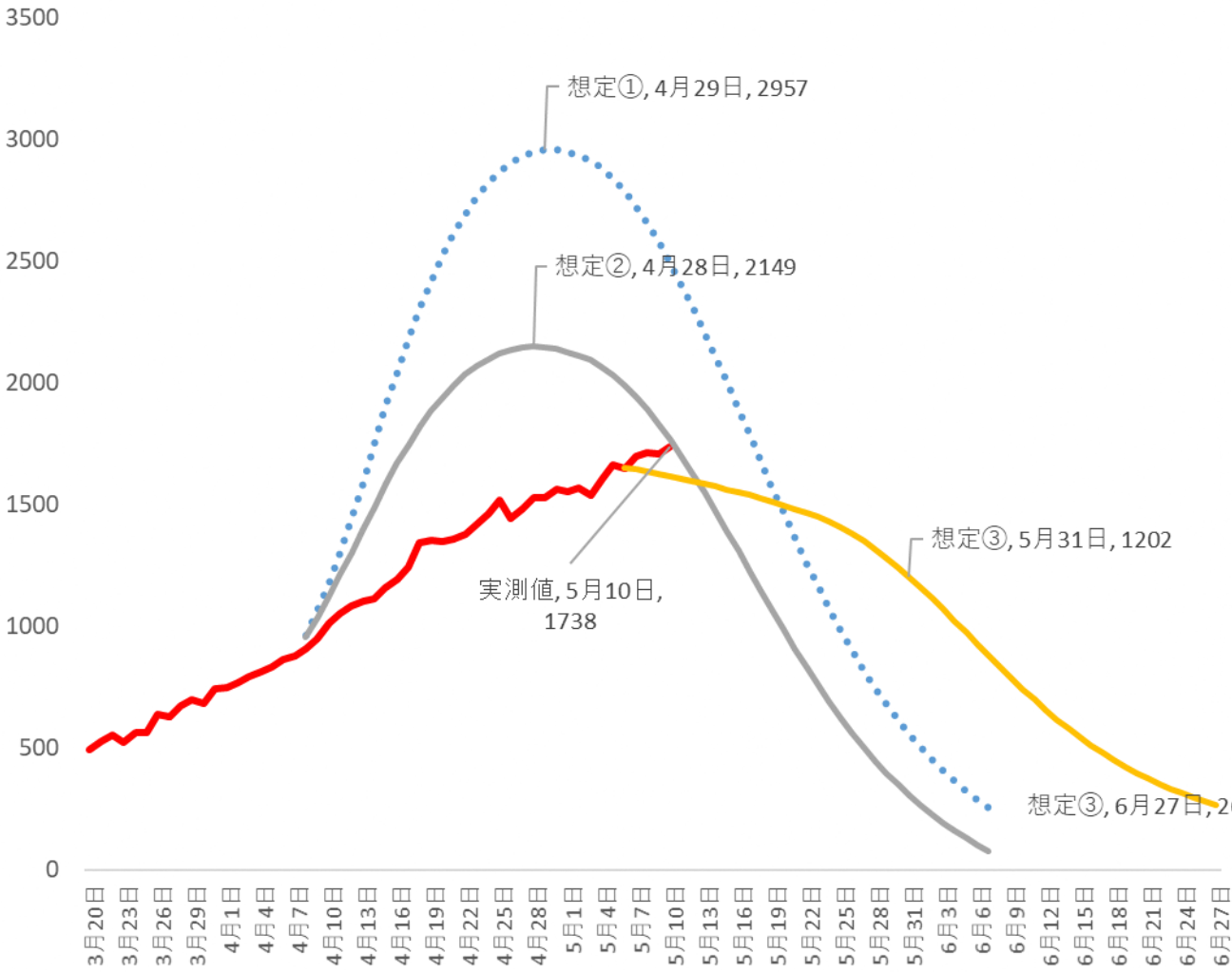
●●●● 想定①（4/14大阪府試算）4/14まで前週比2倍で増加し、4/19以降減少
 ●●●● 想定②（4/14大阪府試算）4/14まで前週比1.5倍で増加し、4/19以降減少
 — 想定③（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少（60代以上の割合を18%と設定）
 — 想定③（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少（60代以上の割合を25%と設定）
 — 実測値

※陽性者数や重症率の設定の考え方は4月5日時点の数値に基づいてシミュレーションを実施しているが、60代以上の割合は直近の数値（5/5時点の新規陽性者中の割合(7日間)25%)に基づきシミュレーションを追加実施。17
 今後、重症率や新規陽性者中の60代以上の割合が増加（第三波では最大で35%程度）すると、重症者数は想定するシミュレーションの値よりも増加する可能性あり。

療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション

宿泊療養者数シミュレーション



- 実測値
- 想定①（4/14大阪府試算）4/14まで前週比2倍で増加し、4/19以降減少
- 想定②（4/14大阪府試算）4/14まで前週比1.5倍で増加し、4/19以降減少
- 想定③（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少

- 実測値
- 想定①（4/14大阪府試算）4/14まで前週比2倍で増加し、4/19以降減少
- 想定②（4/14大阪府試算）4/14まで前週比1.5倍で増加し、4/19以降減少
- 想定③（5/5大阪府試算）5/8まで横ばい、5/9以降減少